

## 算数オンライン塾 4月14日の問題 解説

(解説と解答)

(1) 4時間20分は  $60 \times 4 + 20 = 260$  分

Aさんは  $260 \div 10 \times 5 = 130$  羽

Bさんは  $260 \div 10 \times 8 = 208$  羽

Cさんは  $260 \div 10 \times 11 = 286$  羽

ですから合計  $130 + 208 + 286 = 624$  羽

(答え) 624 羽

(2) 1000羽折るので、 $1000 - 624 = 376$ 羽が残りです。

最初にAが休むので、50分間はBとCだけですから  $(8 + 11) \times 5 = 95$ 羽折れます。

次はBが休むのでAとCだけですから  $(5 + 11) \times 5 = 80$ 羽

次はCが休むのでAとBだけですから  $(5 + 8) \times 5 = 65$ 羽

$50 \text{分} \times 3 = 150 \text{分}$ で  $95 + 80 + 65 = 240$ 羽折れます。

$376 - 240 = 136$ 羽。

次の50分で  $136 - 95 = 41$ 羽です。(BとCが折っています。)

次の50分はAとCが折っています。

10分で16羽折れるので  $41 \div 16 = 2 \cdots 9$ 羽ですから、残り9羽です。

この時までには4時間20分 + 50分  $\times 4$  + 10分  $\times 2 = 8$ 時間が経過しています。

Aは10分で5羽ですから1分間に0.5羽

Cは10分で11羽ですから1分1.1羽。二人で1分あたり  $0.5 + 1.1 = 1.6$ 羽ですから、

$9 \div 1.6 = 5 \cdots 1$ で5分後に

Aは3羽目を折っており、Cは6羽目を折っています。

Aが3羽目を折り終わるのは8時間6分後。

Cが6羽目を折り終わるのは  $\frac{10}{11} \times 6 = 5 \frac{5}{11}$ 分後

Cが7羽目を折り終わるのは  $\frac{10}{11} \times 7 = 6 \frac{4}{11}$ 分後ですから

1000羽目を折るのはAになり、それは8時間6分後になります。

(答え) A 8時間6分後